

提出 順番	No. 4	平成26年8月28日 午前・午後 1時30分
----------	----------	-----------------------------

平成26年8月28日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 野原恵子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
子どもが健やかに成長できる対策を	安倍内閣は、「成長戦略」と称して、いっそうの労働法制の規制緩和をすすめようとしています。 規制緩和による雇用破壊が女性の貧困に拍車をかけています。もともとパート労働者の圧倒的多数は女性ですが、いま200万人を超える非正規労働者の約7割が女性です。 特に母子家庭の場合は深刻です。2011年度全国母子世帯等調査によると、母子世帯は123万8千世帯、平均年間就労収入は181万円と低く、生活のために複数の仕事を余儀なくされ、母親の健康問題や子育てにも影響を及ぼす状況も起きています。 雇用破壊の問題は、母子家庭に限らず不況が続くなかで、半数以上を占めるようになった共働き世帯も、妻、あるいは夫婦ともに非正規のケースも多くなり、貧困世帯が増加しています。特に女性は妊娠・出産を機に仕事と子育ての両立が難しく6割が仕事をやめています。もう一度働こうとおもっても、非正規雇用になってしまい正規雇用は困難なのが現状です。 子どもには収入がなく親世帯の貧困は、当然子どもの貧困につながり教育・文化などに格差が生じ、あらゆる分野で深刻な影響を与え、貧困の連鎖も生まれています。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	以下、次の点について伺います。 1 一人親世帯への援助を ① 親への医療費の拡充を ② 一人親世帯への就労支援・DVなど、相談窓口の開設を ③ 年少扶養廃止により税が引き上げられている。 国に元に戻すことを求めていること 2 保育所の充実を ① 保育時間は朝7時から預けられるように延長保育を ② 乳児保育は生後6ヶ月から対象になっているが、産休が短い職場では働き続けられず産休明けからの保育を行うこと 3 学童保育所は、現在6ヶ所で実施されているが特に定員を超えている施設の対策強化を ① 施設の拡充を ② 指導員の増員を ③ 6年生までの受け入れ対策は